

第2節 総合的な子育て支援施策の展開

1 地域における子育て支援の充実

(1) 地域子育て支援センターの充実

施策名	施策内容	事業成果(H29年度)	事業成果(H30年度)	具体的な事業実績	今後の予定	担当課
(1) 地域子育て支援センターの充実	○地域子育て支援センターの事業内容の充実を図り、身近な地域における子育ての仲間づくりを進めます。	B	B	平成17年10月から山吹保育園敷地内で子育て支援センター「すくすく」を開設。月平均約20日開所、月平均(大人・子ども)約513人利用。出前保育や誕生会、季節の行事を取り入れ、事業内容の充実を図っている。	B	子育て支援課
(2) 子育てに関する情報提供体制の充実	○地域子育て支援センター事業や公民館活動、その他乳幼児の子育てに関する情報提供体制の充実を図ります。	B	A	広報紙、ホームページ、ガイドブックに掲載。保健センター、公民館等にチラシ等を設置。 利用者支援事業を実施し、相談体制の充実に努めている。 平成30年度から在宅育児応援事業を開始。満2歳の誕生日を迎える子どもを在宅で養育している保護者に絵本をプレゼント。27名	A	子育て支援課
(3) 幼稚園との連携強化	○私立越生みどり幼稚園では、就園児の幼児教育のみならず、未就園児への子育て支援において重要な役割を果たしています。今後、関係機関と幼稚園との連携を強化することで、町全体としての子育て支援機能の強化を図ります。	B	B	未就園児対象の事業 子育てパーティー：20回、延べ783人 プレ幼稚園うさぎ組46回 延べ468人 園庭開放：13回、延べ65人 ガイドブックに掲載、窓口等にチラシを設置し事業を周知	B	子育て支援課

事業成果:A期待以上の成果を上げた B期待どおりの成果を上げた C期待どおりの成果をあげていない D実施していない
今後の予定:A拡充 B継続 C見直し D廃止

(2)地域全体で子育てを支援する体制の整備

施策名	施策内容	事業成果(H29年度)	事業成果(H30年度)	具体的な事業実績	今後の予定	担当課
(1) 学校教育と社会教育の連携強化	<p>○「梅の里おごせ子どもサポート事業」では、学校を通じて参加者を募集していることから、毎回、多くの子どもたちの参加を得ることができています。</p> <p>○今後は、事業の計画段階から学校の参加を進めるなど、学校教育と社会教育の連携を強化していきます。</p>	B	B	<p>ウキウキクッキング教室（年2回：参加者45人）</p> <p>ひまわりチャンピオン大会（オセロ、紙ヒコーキ、とうろう作り教室、水てっぽう、マジック教室、フェイスペイント教室、クリスマス会、マンカラ、凧作り教室、かるた、バトミントン）年1回：参加者計189人</p>	B	生涯学習課
(2) 学校・家庭・地域の連携強化	<p>○現在、保護者や地域住民による学校行事への協力や、登下校を一緒に歩いていただくなどの活動を行う学校応援団などの取組が行われています。</p> <p>○今後とも、家庭を含む地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進するため、学校応援団の充実に努めます。</p>	B	B	<p>学校応援コーディネーターを中心に校内整備などを実施</p> <p>年間を通じ登下校の見守りを実施（スクールガードリーダー）</p> <p>「おごせ元気っ子通信」（梅の里おごせ子どもサポート協議会/発行）に開催事業を掲載し、幼稚園・保育園、小学校を通じて、園児、児童に年6回配付している（中学校には校内掲示のみ）。</p>	B	学務課 生涯学習課
(3) 地域全体で子育てを支援する意識の普及	<p>○見守りボランティアの増員、地域支え合いサービス事業の普及、子どもの一時預かりなど、地域住民による子育て支援活動を充実します。</p> <p>○幼稚園、保育所での高齢者との交流、イベントでの昔遊びの指導など、多世代交流を実施していきます。</p> <p>○子どもと地域の大人があいさつできる地域づくりを進めます。</p>	B	B	<p>地域支え合いサービス事業では、研修会や毛呂山町との交流会を実施。</p> <p>越生みどり幼稚園：童ようをうたう会による童謡、唱歌、八起会南京玉すだれ等。</p> <p>越生保育園：お正月遊び等</p> <p>山吹保育園：光の丘への訪問等</p> <p>学童保育室：世代間交流実施</p> <p>あいさつ運動を、春休み・夏休み・冬休み明けの7日間実施。通学時の児童、生徒の安全を図るため、PTA保護者に、学校周辺の通学路や交差点等に立哨をお願いしている。</p>	B	子育て支援課 社会福祉協議会 学務課 生涯学習課

事業成果:A期待以上の成果を上げた B期待どおりの成果を上げた C期待どおりの成果をあげていない D実施していない
今後の予定:A拡充 B継続 C見直し D廃止

2 家庭における子育て支援の充実

(1) 家庭における子育ての力を高める支援の充実

施策名	施策内容	事業成果(H29年度)	事業成果(H30年度)	具体的な事業実績	今後の予定	担当課
(1) 家庭教育の充実	<p>○幼児期からの家庭教育の重要性や必要性の啓発を行うため、幼稚園・保育所を対象に「見守ってね教室」を開催します。</p> <p>○小学生・中学生のいる家庭を対象に「PTA家庭教育学級」や「子育て講演会」を開催するとともに、より多くの保護者が参加できるように、周知方法等の改善に努めます。</p>	B	B	見守ってね教室を、越生保育園、みどり幼稚園、山吹保育園を対象に年1回実施。参加者計87人 PTA家庭教育学級を、各小中学校で年3回程度開催。給食試食会や子どもの人権などに関する学級を実施。参加者計184人	B	生涯学習課
(2) 父親の育児参加の促進	<p>○父親参加の子育てを促進するため、父親の育児サークルを育成・支援するとともに、父親の学校行事への参加を促進するための取組を実施します。</p> <p>○家庭における父親の役割について考える機会を提供するため、社会教育事業において父親の子育て参加を促進するための魅力的な講座を実施します。</p>	B	B	小中学校とも土曜授業日を利用した行事の開催を行った。 生涯学習課では、現在、父親だけを対象にした講座や教室等は実施していないが、見守ってね教室やPTA家庭教育学級には、父親または夫婦で参加している事例もある。	B	学務課 生涯学習課
(3) 「親」としての意識啓発の充実	<p>○子育ての第一義的な責任を有する「親」としての意識を高めるため、町ホームページや広報紙等により啓発活動を行います。</p> <p>○保育所・幼稚園、学童保育室をはじめ、母子保健事業、生涯学習事業等、様々な事業において、親育ちの視点を取り入れていきます。</p>	B	B	<p>3園とも、一日保育士(者)体験や園だよりを通じて啓発。越生みどり幼稚園では、おしゃべりホットタイムや保護者会での講演会を実施。年間を通してサポーターとしての参加を呼びかけ、殆どの保護者が参加している。山吹保育園では地域の子育て家庭も対象に講演会を実施。越生保育園では、保護者会によるプラネタリウムやハッピーコンサートを実施。</p> <p>中学校では、3年生を対象に家庭科の授業において、3園で「幼児とのふれあい体験」を実施。</p> <p>生涯学習課では、今後、各校のPTA役員と連携を図りながら、親としての意識を高めるための事業を検討する。</p>	B	子育て支援課 健康福祉課 学務課 生涯学習課

事業成果:A期待以上の成果を上げた B期待どおりの成果を上げた C期待どおりの成果をあげていない D実施していない
今後の予定:A拡充 B継続 C見直し D廃止

(2)経済的支援の充実

施策名	施策内容	事業成果(H29年度)	事業成果(H30年度)	具体的な事業実績	今後の予定	担当課
(1) こどもの医療費支給事業の充実	○平成24年4月より18歳まで拡大したほか、平成25年7月より町内及び毛呂山町の指定医療機関における窓口払い無料化を図りました。今後、指定医療機関の範囲の拡大について検討していきます。	B	B	認定者数：未就学児382人、小学生439人、中学生269人、高校生325人 合計1,415人 指定医療機関：62機関	B	子育て支援課
(2) 保育料等に関する負担軽減	○子育て家庭の経済的負担をより軽減するため、第3子以降の児童に対しては、同時に入所しているか否かに関わらず、保育所・幼稚園における保育料等の無料化を継続していきます。	B	B	保育所・認定こども園：44人 幼稚園：2人	B	子育て支援課
(3) 児童手当の普及・啓発	○児童手当の対象となる世帯が確実に利用できるよう制度の普及・啓発に努めます。	B	B	広報紙、ホームページ、ガイドブックに掲載。出生届、転入届時に同時に手続。	B	子育て支援課
(4) 出生祝金の支給の充実	○出生祝金支給事業は、出生を祝福するとともに、その健やかな成長を祈念し、第1子は10,000円、第2子は30,000円、第3子以降は100,000円に増額します。	B	B	第1子：16人 第2子：22人 第3子：6人	B	子育て支援課
(5) チャイルドシートの購入費一部助成事業の普及・啓発	○チャイルドシート購入費の一部助成事業は、10,000円を限度として、チャイルドシート購入費の一部助成を実施しています。事業の普及・啓発に努めます。	B	B	広報紙、ホームページ、ガイドブックに掲載。助成件数：26件	B	子育て支援課
(6) 予防接種費用の一部助成事業の普及・啓発	○平成25年度から、インフルエンザ予防接種、平成26年度からは、おたふくかぜ、ロタウイルス、B型肝炎ウイルスの予防接種費用の一部助成を実施しています。事業の普及・啓発に努めます。	B	B	インフルエンザ1回目3,000円、2回目2,000円を上限に助成 おたふくかぜ・ロタウイルス費用助成 風しん抗体価の低い、妊娠を望む女性とその夫等に風しん予防接種費用の一部助成を開始（申請6件）	B	健康福祉課
(7) ベビーベッド貸出事業	○平成27年度から、ベビーベッド貸出事業を実施します。乳児の保護者に対し、6か月以内（満1歳に達する日まで延長可）、無料でベビーベッドを貸し出し、乳児の健やかな成長と、保護者の経済的負担の軽減を図ります。	B	B	24件申請。うち5件延長	B	子育て支援課

事業成果:A期待以上の成果を上げた B期待どおりの成果を上げた C期待どおりの成果をあげていない D実施していない
今後の予定:A拡充 B継続 C見直し D廃止

(8) ウェルカム赤ちゃん事業	○平成27年度から、経済的負担の軽減を図るため、不妊治療の費用の一部を助成します。夫婦1組につき1年度当たり1回、10万円を限度とし、通算で5年度助成します。制度の普及・啓発に努めます。	A	A	特定不妊治療費助成 4件 男性不妊治療費助成 0件 不妊検査費助成 2件	B	健康福祉課
-----------------	---	---	---	--	---	-------

3 親と子の健康と福祉の充実

(1) 一人ひとりに対応した母子保健の推進

施策名	施策内容	事業成果(H29年度)	事業成果(H30年度)	具体的な事業実績	今後の予定	担当課
(1) 妊娠から育児までの一貫した母子保健の推進	○保健・医療・福祉・教育と連携を図りながら、妊娠、出産、育児と一貫した母子保健体制を確立しており、今後とも、この体制の充実を目指します。	B	B	各機関と連携を図りながら、妊娠、出産、育児と一貫した母子保健体制をとっている。 平成29年4月1日～子育て世代包括支援センター開設	B	健康福祉課
(2) 保健・医療・福祉・教育との連携による母子保健の推進	○保育所・幼稚園との情報交換するための「母子保健関係者連絡会」をはじめ、地域子育て支援センターとの連携を強化します。 ○学校保健との連携についても、養護教諭と情報交換を随時行います。	B	B	巡回相談等に保健師も参加することで情報交換を行っている。	B	健康福祉課
(3) すべての子育て家庭と身近な関係となる母子保健の推進	○平成19年度からすべての新生児を対象に訪問相談・指導を実施しています。今後とも、一人ひとりの状態に応じた継続的な支援を行っていきます。	B	B	新生児・乳児訪問 延46件	B	健康福祉課

事業成果:A期待以上の成果を上げた B期待どおりの成果を上げた C期待どおりの成果をあげていない D実施していない
今後の予定:A拡充 B継続 C見直し D廃止

(2)母子保健事業の充実

施策名	施策内容	事業成果(H29年度)	事業成果(H30年度)	具体的な事業実績	今後の予定	担当課
(1)乳幼児健康診査・妊婦健康診査の充実	<p>○乳幼児健康診査では、子どもの健やかな成長のために、疾病の早期発見や発育・発達の確認、育児などの相談支援を実施しています。また、妊婦健康診査については受診券1回に加え、13回の助成券の交付を行っています。</p> <p>○乳児健康診査の回数増加を図るとともに、管理栄養士・保健師の確保・研修の強化などマンパワーの量的・質的な充実に努めます。</p>	B	B	<p>妊婦健康診査助成券(14回) ①40人②44人③40人④43人⑤44人 ⑥44人⑦45人⑧42人⑨44人⑩42人 ⑪35人⑫34人⑬20人⑭17人 延534人</p> <p>妊婦タクシー券助成事業 延べ62件</p> <p>乳児健康診査 4回 1歳6か月児健康診査 3回 3歳児健康診査 3回</p>	B	健康福祉課
(2)乳幼児健康相談の充実	<p>○「妊婦健康相談」、「新生児電話相談」、「育児相談」などにおける相談・支援を実施しています。</p> <p>○今後も引き続き、保健センター内のみでなく子育て支援センター内での育児相談も継続し、連携を図ります。</p>	B	B	<p>妊婦健康相談 49人 新生児電話相談 43人 所内育児相談 20回 母乳相談 8回 すくすく育児相談 12回</p>	B	健康福祉課
(3)乳幼児健康教育の充実	<p>○「ママパパ教室」や「離乳食実習」、「にこにこ幼児食教室」などにおいて、食育の推進をはじめとした教育の充実を図ります。</p>	B	B	<p>ママパパ教室 2回延10人 離乳食実習 4回延38人 にこにこ幼児食教室 1回延7人 わくわく栄養講座 3回延218人 その他、すくすく育児相談(のびのびサロン)時に「子どもの睡眠」「離乳食講座」「健やか運動遊び」などの講話を実施</p>	B	健康福祉課
(4)乳幼児等への訪問指導の充実	<p>○「妊産婦訪問指導」や「新生児・乳幼児訪問指導」を実施し、保健・医療・福祉との連携を図りながら、きめ細かな訪問指導を行います。</p>	B	B	<p>妊婦訪問 延0人 産婦等訪問 延58人 新生児・乳幼児訪問 延57人 中学生訪問 延1件</p>	B	健康福祉課

事業成果:A期待以上の成果を上げた B期待どおりの成果を上げた C期待どおりの成果をあげていない D実施していない
今後の予定:A拡充 B継続 C見直し D廃止

(5) 歯科保健事業の充実	○乳幼児期のむし歯は身体・精神面へ悪影響を及ぼすおそれがあるため、今後も歯科保健指導、2歳児歯科教室等の充実を図ります。	B	B	2歳児歯科教室 2回延26人 歯みがき講座 1回延38人 のびのびサロン講話(歯の話) 1回延14人	B	健康福祉課
(6) 小児医療の充実	○病院群輪番制方式による救急医療体制を継続的に確保するとともに、近隣市町村及び関係機関との連携の下、小児医療の充実に努めます。	B	B	病院群輪番制方式による救急医療体制の継続の確保、小児医療については、毛呂山町に小児科が開院。	B	健康福祉課
(7) 学童期・思春期から成人期に向けた保健対策相談体制の充実	○思春期保健は、学校保健活動の中で行われているため、今後、学校を中心に生命の尊さや性に関する教育、飲酒・喫煙・薬物に関する正しい知識の指導の充実を目指します。 ○また、相談に関する専門的知識の向上を図るため、保健師等の資質向上に努めます。	B	B	小中学校の道徳の授業を中心に、中学校では保健体育、家庭科の授業で指導を行った。また、中学校では、7月に薬物乱用防止教室、3月には性の教育を実施した。 県等が実施する研修に参加	B	健康福祉課 学務課

事業成果:A期待以上の成果を上げた B期待どおりの成果を上げた C期待どおりの成果をあげていない D実施していない
今後の予定:A拡充 B継続 C見直し D廃止

(3) 児童虐待防止対策の充実

施策名	施策内容	事業成果(H29年度)	事業成果(H30年度)	具体的な事業実績	今後の予定	担当課
(1) 母子保健事業における児童虐待の発生予防・早期発見・早期対応	○親の育児不安の解消等を図るため、各種母子保健事業を通じて、親への相談指導等を実施するとともに、児童虐待の発生予防の観点から、妊娠期からの継続した支援の充実に努めます。	B	B	各健康診査等で相談指導を実施。妊娠期からの継続した支援の充実に努める。	B	健康福祉課
(2) 「要保護児童対策地域協議会」の充実	○「要保護児童対策地域協議会」を設置し、情報の集約と協議会の円滑な運営に努めています。 ○また、児童相談所の専門性や権限を要する場合に、児童相談所に適切に援助を求めるほか、相互に協力して連携の強化を図ります。	B	B	代表者会議：1回、実務者会議：1回、個別ケース検討会議：10回開催 児童相談所と連携して家庭訪問等を実施	B	子育て支援課
(3) 学校・保育所との連携による児童虐待早期発見・早期対応の強化	児童虐待が疑われるケースは学校や保育所で発見されることが多いため、速やかに連絡・通報が受けられるよう連携の充実に努めます。	B	B	保育所、幼稚園とも速やかな調整を行い、連携に努めている。 担当課と学校との速やかな調整を行った。関係課、学務課および小中学校の連携を密にし、常に最新の情報を共有できている。	B	子育て支援課 学務課

事業成果:A期待以上の成果を上げた B期待どおりの成果を上げた C期待どおりの成果をあげていない D実施していない
今後の予定:A拡充 B継続 C見直し D廃止

(4)ひとり親家庭等の自立支援の推進

施策名	施策内容	事業成果(H29年度)	事業成果(H30年度)	具体的な事業実績	今後の予定	担当課
(1)ひとり親家庭等への支援の充実	<p>○医療費の自己負担分の助成や児童扶養手当の支給、保育所への優先入所、町営住宅への優先入居等を行っていきます。</p> <p>○また、医療費の助成は経済的負担の一部を軽減するものであるため、今後、経済的負担をさらに軽減するための制度の充実を国・県に要望していきます。</p> <p>○ひとり親家庭等への支援制度は、母子家庭を対象とするものが多いため、父子家庭への支援を行う制度の充実について国・県に要望していきます。</p>	B	B	ひとり親医療費支給対象者 母子家庭：94家庭、父子家庭：5家庭	B	子育て支援課
(2)ひとり親家庭等に対する相談・情報提供の充実	<p>○ひとり親家庭等の様々なニーズに対応するため、関連各課と連携し、相談・援助事業の充実に努めます。</p> <p>○また、就業支援については、県に配置された就業支援専門員との連携に努めます。</p>	B	B	関連各課と連携し、相談・援助事業の充実に努めている。	B	子育て支援課

事業成果:A期待以上の成果を上げた B期待どおりの成果を上げた C期待どおりの成果をあげていない D実施していない
今後の予定:A拡充 B継続 C見直し D廃止

(5)障がい・発達に遅れのある子どもへの支援

施策名	施策内容	事業成果(H29年度)	事業成果(H30年度)	具体的な事業実績	今後の予定	担当課
(1)障がいの早期発見・早期療育の充実	○障がいの原因となる疾病等の早期発見・早期療育を推進していくため、各種健康診査やこどもの発育相談等の充実を図ります。 ○また、子どもの健全な発達を支援するため、未熟児医療や自立支援医療（育成医療）の給付のほか、保健・医療・福祉・教育関係機関の連携を強化します。	B	B	こどもの発育相談 5回 幼児 16人 保護者等20人 未熟児養育医療 1人 自立支援医療（育成医療） 1人	B	健康福祉課
(2)障がい児に対する相談・支援体制の充実	○障がいや発達に遅れのある児童一人ひとりの具体的な状況を把握し、きめ細かな相談・支援を推進します。	B	B	子どもの発達支援巡回相談事業を町内の5施設にて実施（越生保育園、山吹保育園、越生みどり幼稚園、すくすく、学童保育室）全9回 委託先：光の家療育センター	B	健康福祉課
(3)障がい児に対する福祉サービス・生活支援の充実	○障がいや発達に遅れのある児童一人ひとりに応じた援護を行うため、「越生町障がい者計画・越生町障がい福祉計画」に基づき、各種事業を実施します。 ○親子グループ教室については、対象となる乳幼児が少ないことから、個別対応など効果的な事業方法について検討します。	B	B	「越生町障がい者計画、越生町障がい福祉計画・越生町障がい児福祉計画」に基づき、各種事業を実施 親子グループは未実施。今後について、親子グループ教室は終了とし、個別での対応をしていく。	B	健康福祉課

事業成果:A期待以上の成果を上げた B期待どおりの成果を上げた C期待どおりの成果をあげていない D実施していない
今後の予定:A拡充 B継続 C見直し D廃止

仕事と子育ての両立支援
 (1)多様な保育サービスの充実

施策名	施策内容	事業成果(H29年度)	事業成果(H30年度)	具体的な事業実績	今後の予定	担当課
(1) 保育サービスにおける待機児童数ゼロの推進	○保育所入所については、待機児童なしの状況が継続しています。今後とも引き続き待機児童を発生させないようにするとともに、保育内容の質の向上に努め、子育てをしている方が安心して働くことができる環境づくりに努めます。	B	B	待機児童：0人、保育士研修に参加して、質の向上に努めている。	B	子育て支援課
(2) 低年齢児保育の充実	○現在、低年齢児保育を町立越生保育園では生後6か月から、私立山吹保育園では生後4か月から実施しています。今後とも、育児休業後に円滑に利用できるよう確保に努めます。	B	B	0歳児保育利用 4月 → 3月 越生保育園 1人 4人 山吹保育園 6人 6人 町外保育園 0人 0人	B	子育て支援課
(3) 時間外保育の充実	○時間外保育事業は認可保育所2園で午後7時まで実施しています。ニーズ調査（就学前調査）では、午後7時以降の希望としては、午後7時30分までが、1.4%と少ない状況にあり、当面は現体制を維持しつつ、需要の動向を注視していきます。	B	B	6時31分以降の時間外保育利用 越生保育園 延べ13人 山吹保育園 延べ545人	B	子育て支援課
(4) 一時預かりの充実	○保育所での一時預かりについては、私立保育所では保護者のリフレッシュ目的も可能なサービスとして4か月児～未就学児を対象に実施しています。一方、公立保育所では保護者の社会的理由に対応したサービスとして3歳児～未就学児を対象に実施しています。今後は、公立保育所におけるリフレッシュ目的の受け入れ及び低年齢児の受け入れについて検討します。	B	B	越生保育園 延べ 0人 山吹保育園 延べ44人	B	子育て支援課

事業成果:A期待以上の成果を上げた B期待どおりの成果を上げた C期待どおりの成果をあげていない D実施していない
 今後の予定:A拡充 B継続 C見直し D廃止

(5) 休日保育の検討	○現在、公立保育所では土曜日の午後1時までの保育を実施し、私立保育所では土曜日の午後5時までの保育を実施しています。今後、ニーズの動向を注視しながら、公立保育所における土曜日の保育時間の延長や、日曜日等休日保育の実施について検討します。	B	B	土曜日利用 平均 越生保育園：2人 山吹保育園：11人	B	子育て支援課
(6) 病児・病後児保育の検討	○ファミリー・サポート・センターによる病児・病後児緊急サポート事業の利用を促進するとともに、ニーズの動向を踏まえ、保育所等による病児・病後児保育事業について検討していきます。	B	B	ファミリー・サポート・センターの病児・病後児保育利用1人	B	子育て支援課
(7) 保育所や学童保育室における障がい児の受け入れ体制の充実	○障がいのある子どもに対し、保育所や学童保育室の受け入れ体制を整備するとともに、保育士や職員の資質向上を目指します。	B	B	職員を増員して受け入れ体制を整備	B	子育て支援課
(8) 学童保育室の充実	○学童保育室において保護者会を開催し、保護者の意見も反映しながら子どもの健全育成を推進していくとともに、保護者の悩みや不安の解消を図ります。 ○また、保育指導の質的向上を図るため、学童保育室の職員に対する研修を行います。	B	B	越生学童保育室では夏休み保護者保育体験、保護者と指導員で茶話会を実施。 指導員全員年1回以上研修を受講	B	子育て支援課
(9) 預かり保育の推進	○幼稚園の通常の教育時間終了後も引き続き、家庭的な雰囲気の中で園児を預かることができる「預かり保育」の充実を促進します。	B	B	越生みどり幼稚園：194日 延べ777人利用	B	子育て支援課

事業成果:A期待以上の成果を上げた B期待どおりの成果を上げた C期待どおりの成果をあげていない D実施していない
今後の予定:A拡充 B継続 C見直し D廃止

(2)仕事と子育てを両立するための普及啓発

施策名	施策内容	事業成果(H29年度)	事業成果(H30年度)	具体的な事業実績	今後の予定	担当課
(1)男女共同参画意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> ○越生町女(ひと)と男(ひと)の情報紙「ハンド&ハンド」の発行により、父親の育児参加など男女共同参画に関する情報を幅広く提供することで町民の意識啓発を進めます。 ○男女共同参画に関する講演会やセミナーを通じて、仕事と子育ての両立を普及、啓発します。 ○「越生町男女共同参画プラン」の推進を図るため、男女共同参画に関する情報収集をしていきます。 	B	B	<p>広報おごせ1月号に掲載</p> <p>12月1日男女共生フォーラムを開催した。(参加者106名)</p>	B	総務課
(2)育児・介護休業制度の周知・啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○労働者の職業生活と家庭生活との両立が図られるように育児・介護休業制度の周知・啓発を促進します。 	B	B	母子手帳交付時に、パンフレットを配布。今後、広報紙等で周知・啓発していきたい。	B	子育て支援課 産業観光課
(3)ワーク・ライフ・バランスに基づく子育て支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○働きながら子育てをしていくために、事業主に対し、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)や子育てに対する理解と協力を啓発します。 	B	B	広報おごせ11月号で周知・啓発	B	総務課 子育て支援課 産業観光課

事業成果:A期待以上の成果を上げた B期待どおりの成果を上げた C期待どおりの成果をあげていない D実施していない
今後の予定:A拡充 B継続 C見直し D廃止

子どもの個性を生かす教育の充実
 (1)豊かな心と体を育む教育の充実

施策名	施策内容	事業成果(H29年度)	事業成果(H30年度)	具体的な事業実績	今後の予定	担当課
(1)教職員の指導力向上	○教員の指導技術等の向上を目指した研修を定期的実施し、指導力の向上に努めます。 ○特に、今後、若手教員の大量採用を迎えることから、各校内で実施される研修と連携しながら、さらなる研修の充実に努めます。	B	B	校内研修のほか、越生毛呂山班の研修会等により、指導力の向上に努めた。	B	学務課
(2)食育に関する授業の充実	○給食委員会の活動、家庭科や保健体育の授業を通じて、正しい食習慣の形成などについて啓発活動を行っていきます。 ○また、養護教諭や栄養教諭による正しい食習慣の形成等についての指導、啓発に努めます。	B	B	栄養教諭を中心に小学校低学年から正しい食習慣について学習できるようにした。 年間を通じ、食育だより等で啓発を行った。 各学校とも給食委員会の活動が積極的に行えた。	B	学務課
(3)きめ細かな教育の充実	○個に応じた指導により子どもたちが確かな学力を身につけられるよう、各小・中学校に学習支援員等の非常勤補助教員を配置し、きめ細かな指導体制を整備するとともに、指導方法及び指導形態の工夫・改善に努めます。	A	A	35人学級実施のための臨時講師を配置した。その他各小中学校に非常勤補助教員を配置し、きめ細やかな指導を行うことができた。	B	学務課
(4)幼・保・小・中連絡協議会の充実	○幼稚園、保育所、小学校、中学校の連携を図るための連絡会議を開催し、情報の共有化による一貫した支援体制の充実に努めます。	B	B	越生町就学支援委員会(年3回)、各校の連絡会にて情報交換を実施した。	B	学務課
(5)道徳教育の充実	○町が独自に作成した「3つのあ」を普及するとともに、学校の授業や家庭、地域の教育活動全体を通して道徳教育の充実に努めます。	B	B	県の掲げる「教育に関する3つの達成目標」において、「規律ある態度」の育成を図った。	B	学務課
(6)体力を向上できる環境の充実	○体力向上推進委員会を組織し、授業研究を通して児童・生徒一人ひとりの体力向上を図ります。	B	B	体力向上委員会を実施	B	学務課

事業成果:A期待以上の成果を上げた B期待どおりの成果を上げた C期待どおりの成果をあげていない D実施していない
 今後の予定:A拡充 B継続 C見直し D廃止

<p>(7) 児童・生徒へのカウンセリングの充実</p>	<p>○不登校児童生徒適応指導教室を各学校に設置し、不登校児童・生徒の自立と学校生活への適応を図り、学校へ復帰させるように指導、支援していきます。</p> <p>○さわやか相談員については越生中学校に配置しており、生徒への個別面談を行うとともに、小学校から中学校へと円滑に進めるように、小学校との連携を強化します。</p> <p>○また、すべての教員が児童・生徒に対して適切な対応がとれるよう、小・中学教員へのカウンセラーの資格（初級・中級・上級）取得を進めます。</p>	B	B	<p>月に2回程度のスクールカウンセラーの来校のほか、越生中学校にさわやか相談員及びスクールソーシャルワーカーを配置し、児童・生徒や保護者の相談及び指導を行っている。</p>	B	学務課
<p>(8) 学校評議員制度の充実</p>	<p>○保護者や地域住民から学校経営に対する意見や学校評価に対し、助言をいただく「学校評議員制度」を平成18年度に各小・中学校に導入しました。</p> <p>○今後とも、地域や社会に開かれた学校づくりを進めるため、学校評議員制度の充実に努めます。</p>	B	B	<p>学校評議員制度から学校運営協議会制度へ試行的に移行した。校長が策定した基本方針を承認するなど、学校・保護者・地域が目標を共有し、より連携・協働することができる。令和元年度からは学校運営協議会制度を本格的に実施する。</p>	B	学務課
<p>(9) 町有林を活用した体験学習の提供</p>	<p>○森林とふれあう機会の少なくなった子どもたちに里山を身近な学びの場として提供するため、町有林の管理を行い、学習環境づくりに寄与します。</p>	B	B	<p>平成30年11月30日に梅園小学校5年生を対象に新さくらの山公園で間伐を体験。平成31年1月17日に梅園小学校6年生を対象に龍ヶ谷地区で植樹を体験した。</p> <p>乳幼児期から越生町の木材西川材に親しんでもらうためウッドスタート・木育推進事業を平成28年度から開始。1歳のお誕生月に西川材で作成した玩具をプレゼント。40名。</p>	B	産業観光課 学務課

事業成果:A期待以上の成果を上げた B期待どおりの成果を上げた C期待どおりの成果をあげていない D実施していない
今後の予定:A拡充 B継続 C見直し D廃止

(2)子どもの豊かな遊びと体験の充実

施策名	施策内容	事業成果(H29年度)	事業成果(H30年度)	具体的な事業実績	今後の予定	担当課
(1)芸術文化活動の充実	○青少年の豊かな心を育むため、芸術文化とふれあう機会の充実に努め、文化活動の促進と地域に根ざした文化継承が図れるように支援します。	B	B	子どもおはやし大会（参加17チーム） 秋の文化祭（小中学生の書道・絵画・工作などを展示）	B	生涯学習課
(2)多様な体験ができる機会の提供	○子どもの創造性や好奇心を養うため、様々な体験講座の内容等を検討し、参加者の増加を図ります。	B	B	子どもフェスティバル（参加者約226人）	B	生涯学習課
(3)様々な交流機会の充実	○子ども会やスポーツ少年団、ジュニアリーダーの活動を通して、地域的な交流機会の充実を図り、子どもたちの自主性や協調性、心豊かな青少年の健全育成を目指します。 ○また、体育館を学校教育の管理運営に支障がない範囲で開放し、体育の普及や健康の保持増進、その他の社会体育活動の向上を図ります。	B	B	かるた大会（町予選会1回：参加者32人、県大会1回：参加者団体1チーム(3人)） ドッジビー大会（年1回：参加者29人） リーダー研修会（1泊2日：参加者32人） スポーツ少年団（全8団）の活動の支援 ミニバスケットボール少年団、野球少年団などが定期的に使用	B	生涯学習課
(4)スポーツ環境の整備	○地域において、子どもがスポーツや外遊びを通じて体を動かすことができる機会を提供し、生涯を通じてスポーツに親しむことができる環境の整備を推進します。	B	B	スポーツ少年団体力テスト（年1回：全8団参加） 梅の里ちびっ子駅伝大会（75チーム参加）	B	生涯学習課

事業成果:A期待以上の成果を上げた B期待どおりの成果を上げた C期待どおりの成果をあげていない D実施していない
今後の予定:A拡充 B継続 C見直し D廃止

子育て・子育てを支援する生活環境の整備
 (1)安心して遊び、生活できる環境の整備

施策名	施策内容	事業成果(H29年度)	事業成果(H30年度)	具体的な事業実績	今後の予定	担当課
(1)公園の環境整備	○公園の整備を計画的に実施し、子どもたちが安心してのびのびと遊べるように遊具等の点検や管理を行います。	B	B	職員による遊具の安全点検の実施。 山吹の里歴史公園内の水車小屋の修繕及びベンチの修繕を実施。 五領児童公園内のベンチの修繕を実施。 道路から公園内が見えるよう稲荷児童公園内の大きく成長した樹木の枝等を伐採。	B	まちづくり整備課
(2)子育て家庭にやさしい環境づくり	○公共施設については建設・改修にあわせ、親子に配慮したトイレ等の改修など、子どもと子育てに配慮した快適でゆとりある環境の整備を行うとともに、ユニバーサルデザインを取り入れるよう配慮していきます。 ○また、町民や民間施設などへのバリアフリーに関する意識啓発に努めます。	B	B	越生駅東口開設事業に伴い、新設自由通路及び東口公衆トイレについて、埼玉県福祉のまちづくり条例に適合させた。 12月1日障がい者差別解消法講演会を実施 参加者27名	B	まちづくり整備課 健康福祉課
(3)道路環境の整備	○保護者が子どもと一緒に安心して外出できる安全な道路環境の創出を目指し、危険箇所の改修及び防護柵等の設置を推進します。	B	B	シルバー人材センターに委託し、月4回道路パトロールを実施し、小規模な舗装の修繕等を実施。 単価契約による舗装修繕。 危険箇所へのカーブミラーの新設及び老朽化等による交換修繕等の実施。 消えかかった横断歩道、外側線等の路面表示の修繕。	B	まちづくり整備課
(4)環境汚染対策の推進	○PM2.5や光化学スモッグ警報が発令された場合は、各機関に速やかに連絡し、防災行政無線で周知します。 ○給食の食材の放射性物質検査を実施していきます。	B	B	「PM2.5発生等に係る手続きについて」、「光化学スモッグ発生等に係る手続きについて」により速やかに連絡、周知している 8月を除く年11回、給食食材の放射性物質測定を実施した。小中学校、越生保育園	B	まちづくり整備課 学務課 子育て支援課

事業成果:A期待以上の成果を上げた B期待どおりの成果を上げた C期待どおりの成果をあげていない D実施していない
 今後の予定:A拡充 B継続 C見直し D廃止

(2)子どもの安全を確保するための活動の推進及び環境の整備

施策名	施策内容	事業成果(H29年度)	事業成果(H30年度)	具体的な事業実績	今後の予定	担当課
(1)交通安全・防犯教育の推進	<p>○子どもを交通事故から守るため、警察、幼稚園、保育所、学校、関係団体等との連携・協力を強化し、交通安全教室の充実を図ります。</p> <p>○正しい自転車の乗り方についての体験学習や交通安全指導などを行い、交通安全の啓発を促します。</p> <p>○子どもを犯罪から守るため、防犯知識の普及と啓発を実施していきます。</p>	B	B	<p>保育園、幼稚園の園児や小学校の児童に交通安全母の会主催の交通安全教室を開催した。(年2回)</p> <p>7月14日交通安全母の会主催による小学生を対象とした親子自転車交通安全教室を開催した。</p> <p>各行政区に対し、自主防犯組織の結成や防犯パトロールをお願いしている。</p>	B	総務課
(2)「子ども110番の家」の周知	<p>○登下校時などに子どもが不審者から声をかけられたり、追いかけられたりした場合、助けを求めて駆け込むための「子ども110番の家」の理解と周知を図り、子どもの安全確保に努めます。</p>	B	B	<p>一般家庭や店舗、企業等に協力をいただいている。</p> <p>平成31年3月末現在の登録数は、117件。今後も、この趣旨に賛同していただき、1件でも多く登録していただけるようアピールに努める。</p>	B	生涯学習課

事業成果:A期待以上の成果を上げた B期待どおりの成果を上げた C期待どおりの成果をあげていない D実施していない
 今後の予定:A拡充 B継続 C見直し D廃止

(3)子どもを犯罪から守るための活動の推進及び環境の整備

施策名	施策内容	事業成果(H29年度)	事業成果(H30年度)	具体的な事業実績	今後の予定	担当課
(1) 有害環境対策における教職員研修の実施	○学校において適切な情報教育を行うため、コンピュータ活用委員の職員を中心に情報モラルに関する職員研修を実施します。	B	B	各学校でコンピュータ活用委員を中心に研修を行い、情報モラルの理解を深めた。	B	学務課
(2) 有害環境自粛のための各事業者への啓発	○青少年の健全育成のため、青少年に悪影響を及ぼすおそれのある本やビデオ等を扱う販売店に対し、陳列方法の改善や有害情報を自粛するように働きかけます。	D	D	青少年健全育成の関係法令の整備や出版業界、書店、コンビニエンスストアの自主規制が図られていることから、行政からの啓発活動は必要ないと思われる。	D	生涯学習課
(3) 防犯灯等の整備	○夜間における犯罪の防止と通行の安全を守るため、地域の状況を踏まえた防犯灯等の整備を推進します。	B	B	区長申請に基づくLED防犯灯の新設及び既存道路照明灯のLED化の推進。	B	まちづくり整備課
(4) 防犯パトロール活動の充実	○子どもを犯罪から守るため、各地区の自主防犯組織を育成していくとともに、駅前防犯パトロール隊の活動を支援していきます。 ○町職員による下校時の防犯パトロールを実施していきます。 ○見守りボランティアによる登下校時の見守りを地域各所で実施していきます。	B	B	平日の夕方に1時間30分、4～6人体制で越生駅周辺のパトロールを実施している。 毎月1回、広報車による防犯広報等を実施した。 32名の見守りボランティア活動中	B	総務課 社会福祉協議会

事業成果:A期待以上の成果を上げた B期待どおりの成果を上げた C期待どおりの成果をあげていない D実施していない
今後の予定:A拡充 B継続 C見直し D廃止